

講義名	中国語 A			授業形態	
担当教員	蘭 梅	開講期・曜日・時限	後期 木曜日 2 時限		
		単位数	2	履修開始年次	1 年生
				ナンバリング・コード	CH1121
主題と概要					
この授業では中国語の基礎を学びます。 中国語学習の最初の目標は、正しく発音ができ、中国語の発音が聞き取れて、ピンイン（中国語音のローマ字表記）もきちんと読めることです。日本人にとって中国語学習は、漢字を理解できることが大きなメリットですが、逆にデメリットになることもあります。たとえば、漢字を見るとなんとなく中国語を理解した気分になり、発音を大事にしないということがよく見られます。それでは中国語を真にマスターすることはできません。中国語を音でキャッチし、理解できるようになりたいものです。テキストを使って基本的に活用度の高い表現を学びます。半年の学習でも、多くの中国語の基礎的な知識を学ぶことができ、基本的な表現の技能を身に付けることができます。 ここ数年、中国人以外の外国人留学生の受講者が多くいますので、日本人受講者と留学生受講者と共に励んで勉強してほしいです。					
到達目標					
1. 中国語学習を進めていく上での基礎的知識（発音、ピンイン表記）を身につけます。 2. 簡単な中国語を聞き、質問や状況に応じた応答ができるようになります。 3. 基本的な文の意味を理解でき、書くことができるようになります。					
提出課題					
毎回の授業では、学習内容の理解状況を確認するため、トレーニング用のプリントの提出をしてもらい、次回にフィードバックを行います。また、毎週課題のプリントも配布します。					
課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法					
提出した課題については、解説を行った後、受講者に自身の結果について確認させます。最後に、受講者に共通する問題点について、重点的に復習をします。					
評価の基準					
本講義の評価基準は毎回の講義の受講態度と提出物、小テスト及び中間テストと期末試験の成績により総合的に評価をすることを基準とします。 具体的な割合： ・平常点（授業中の受講態度、課題の提出、小テスト）20% ・中間テスト30% ・期末テスト50% また、5回以上の欠席の場合は評価の対象外となります。					
履修にあたっての注意・助言他					
外国語の授業は実践的なものであるので活発な取り組みを期待します。授業中の積極的態度は大いに評価します。教科書を持って来ないことや、始終スマホを操作していることなどのような行為は大きなマイナスポイントとなります。					
教科書					
.発音重視！中国語初級マスター22.		阿部慎太郎・紅粉芳恵・蘭梅	金星堂	2500	
参考図書					
.なし.					

その他		
必要に応じて課題のプリントを配布します。		
授業計画		
1. 発音編 1.声調・単母音・子音・数字0-99 予習内容： 単母音・子音の音声を聞きながら発音の練習をすること あいはつ表現」の音声を聞き、音読の練習をすること 数字0～9の言い方を確認すること 復習内容： 単母音・子音の音声を聞きながら発音の練習をすること あいはつ表現」の音声を聞き、音読のあと、会話の漢字を3回書くこと 数字0～9の言い方を聞いて分かるように繰り返して聞くこと （120分） 2. 発音編2.複母音・鼻母音・軽声・年月日 予習内容： 複母音・鼻母音・軽声の音声を聞きながら発音の練習をすること あいはつ表現」の音声を聞き、音読の練習をすること 曜日と年月日の言い方の発音と書き方を確認すること 復習内容： 声調の音声を聞きながら発音の練習をすること あいはつ表現、のりし音声を聞き、音読のあと、会話の漢字を3回書くこと 曜日とp20の年月日の言い方の発音を聞いて分かるように繰り返しをすること （120分） 3. 第1課 自己紹介をする 予習内容：第1課の単語を学習すること、「ポイント」の文法を理解し、質問についてメモすること、本文の意味を理解すること 復習内容：文法の課題プリントを完成すること、単語の復習をすること、本文の音読をすること （120分） 4. 第2課 行き先を聞く 予習内容：第2課の単語を学習すること、「ポイント」の文法を理解し、質問についてメモすること、本文の意味を理解すること 復習内容：文法の課題プリントを完成すること、単語の復習をすること、本文の音読をすること （120分） 5. 第3課 雑談をする 予習内容：第3課の単語を学習すること、「ポイント」の文法を理解し、質問についてメモすること、本文の意味を理解すること 復習内容：文法の課題プリントを完成すること、単語の復習をすること、本文の音読をすること （120分） 6. 第4課 家族構成を聞く 予習内容：第4課の単語を学習すること、「ポイント」の文法を理解し、質問についてメモすること、本文の意味を理解すること 復習内容：文法の課題プリントを完成すること、単語の復習をすること、本文の音読をすること （120分） 7. 第5課 スケジュールを聞く 予習内容：第5課の単語を学習すること、「ポイント」の文法を理解し、質問についてメモすること、本文の意味を理解すること 復習内容：文法の課題プリントを完成すること、単語の復習をすること、本文の音読をすること （120分） 8. 前半総復習および習得状況チェックテスト 予習内容：第1課から第5課までの単語の習得を確認すること、文法項目のトレーニング用のプリントを完成すること 復習内容：習得状況チェックテストの結果を見直すこと・間違えた単語の意味、書き方を覚えなおし、文法項目の例文を日本語に訳すこと （120分） 9. 第6課 待ち合わせをする 予習内容：第6課の単語を学習すること、「ポイント」の文法を理解し、質問についてメモすること、本文の意味を理解すること 復習内容：文法の課題プリントを完成すること、単語の復習をすること、本文の音読をすること （120分） 10. 第7課 機内食を頼む 予習内容：第7課の単語を学習すること、「ポイント」の文法を理解し、質問についてメモすること、本文の意味を理解すること 復習内容：文法の課題プリントを完成すること、単語の復習をすること、本文の音読をすること （120分） 11. 第8課 SNSで連絡を取る 予習内容：第8課の単語を学習すること、「ポイント」の文法を理解し、質問についてメモすること、本文の意味を理解すること 復習内容：文法の課題プリントを完成すること、単語の復習をすること、本文の音読をすること （120分） 12. 第9課 道案内をする 予習内容：第9課の単語を学習すること、「ポイント」の文法を理解し、質問についてメモすること、本文の意味を理解すること 復習内容：文法の課題プリントを完成すること、単語の復習をすること、本文の音読をすること （120分） 13. 第10課 待ち時間を伝える 予習内容：第10課の単語を学習すること、「ポイント」の文法を理解し、質問についてメモすること、本文の意味を理解すること （120分）		
授業形態（アクティブ・ラーニング）		
○	ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
	ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
	オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（Aし型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連		
外国語を用いて「人と円滑なコミュニケーションをとることができる」資質・能力を育み、商学部生に求められる「各業界の動向や問題点を理解するための基礎知識」、経済学部生に求められる「人間、社会に関するこれまでの学問的成果の基礎」、人間社会学部生に求められる「日常生活と文化といった現実社会の様々なテーマ」に習熟し「コミュニケーション能力」の育成を目指します。		
双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述		
本講義では基本的にICT活用をして授業を進めていきます。文法説明や課題の答え合わせなどについてはすべてBigpadで行い、習得する単語の確認にQuizlet、文法習得の状況確認にKahootもBigpadを利用します。		
実務経験の有無及び活用		
備考		